



2 24 体育館にごちそうがずらり 新十津川中学校でバイキング給食

新十津川中学校でバイキング形式の給食が提供され、3年生と担任ら70人がごちそうに舌鼓を打ちました。

このイベントは、体育館に学年全員が揃って食べることで、学級の枠を超えて交流を深めることと、バイキングのマナーを身に付けることを目的に企画されました。

生徒たちは、自分が食べ切れる量を考えながら、五目ごはんや焼き鳥、グラタン、ケーキなど全20種類のメニューから、思い思いの料理を取り皿に運んでいました。

3月には、新十津川小学校の6年生を対象に、バイキング給食が予定されています。

2 11 きつい作業も慣れた手つきで 技能協会が除雪奉仕

一人暮らしのお年寄りが長い冬を快適に過ごせるよう、新十津川技能協会（宮野善良会長）が、ボランティアで除雪作業を行いました。

技能協会は、建築や土木、塗装などに従事する方でつくる団体。地域に少しでも貢献できればと、平成9年から毎年除雪ボランティアをしています。

今年も、会員21人が参加し、タイヤショベル3台とスコップで3軒の除雪をしました。





2 15 郷土を愛する心、育んで 望郷会が図書贈呈

新十津川望郷会（札幌市）の高棹政義会長が、新十津川小学校を訪れ、図書室に新しい本をプレゼントしました。

望郷会は、かつて本町に住んでいた方々の集まり。昨年、新十津川町が開町120年を迎えたことを機に、子どもたちの勉学の励みになればと、平成27年までの5年間、小中学校に本を贈ることにしました。

児童を代表して、図書委員長の向井理紗さんは「大切に使います。たくさん本を読んで、たくさん感動を味わいたいです」とお礼を述べました。

2 13 故郷は遠きにありて思うもの

関東在住の本町出身者でつくる徳富会の設立総会が、東京都内のレストランで開催され、故郷を離れて活躍する33人が出席しました。

会の設立には、花月出身の松倉幹男さんと真鍋哲男さん、吉野出身の藪内悟さんが奔走。人脈を生かして同郷の仲間に声をかけ、このほど晴れて設立を迎えました。

今後は、母村十津川村訪問ツアーなど年間3回程度の行事計画を立て、交流機会の創出と会員の増強を進めていく予定です。



2 7 新小獅子、1年間の舞い納め

新十津川小学校で獅子神楽特別クラブの納会が開かれ、保護者や獅子神楽保存会の会員ら16人が見守る中、小学生18人が4曲の獅子舞を披露しました。

納会は、1年間の成果を発表する場であるとともに、活動の中心を担ってきた6年生の退団式も兼ねています。

最後の演舞で踊りを務めた吉田宇修くんは「1年生から6年間ずっと続けてきました。獅子と踊りをしましたが、どれも一生懸命楽しくできたことが思い出です」と充実した表情で話していました。

